



新年のごあいさつ

皆様新年あけましておめでとうございます。

平成18年の年頭にあたり、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は私たちの町「南部町」が実質スタートした極めて大切な年であったと思いますが、町民各位のご協力をいただき、順調に新しい町の歩みを始めることができたこと、大変嬉しく思っております。

各種団体の合併も進めていただき、お互いの町のさまじまな事業も和気あいあいのうちに協同で実施され、それぞれの思いを学び、心合わせをしていただいたのではないかと感謝しております。

心合わせの段階から徐々に力合わせにステップアップして、今後の町づくりを一層力強いものにして行きたいと思っておりますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

合併の目玉事業としてお約束をいたしました3つの重点事業のうち、循環バスの運行については、ご要望に沿って新年度に向けてルートの見直しなどを実施してまいりますのでご期待下さい。

西伯病院の建設については病院棟が昨年10月に完成しましたが、本年4月には全工事が竣工する予定であります。

在宅、メンタル、ITを病院の特徴として取り組んでまいりましたが、在宅では通所リハビリテーションやデイケアの充実、メンタルでは回想ストリートや心療内科の充実、ITでは電子カルテの導入など、新しい機能が充実した近代的な病院に生まれ変わりました。

今後長きにわたって皆様の健康を支え、明るい暮らしに役立つものと強く期待をしております。

重点事業のうち最後となりましたが、
本年はCATV施設整備事業を取り組み
まして、平成19年4月から供用開始でき
るように進めてまいります。

これにより行政情報の伝達などのほか、
テレビの難視聴の解消やインターネット
環境の向上など、従来とは比較にならない
いほど進んだ情報通信基盤が実現いたし
ます。

また、本年は私が提唱しています「地
域自治組織」の設立に向けて、ご協力を
よろしく願います。地域自治組織は
地方分権を役場任せにせずに、住民自ら
のものにしていくために必要な町の基盤
整備であります。身近な課題を身近な組
織で自らも参画する中で解決できるなら
ば、今以上にきめ細かな町づくりが展開
されることとなります。その結果として

未来に開かれた、子どもや孫に誇れる南
部町の実現を夢見ているところでありま
す。

これらの事業を骨格として、さまざま
な事業を組み合わせ散りばめて、職員一
同全力で魅力的な南部町の町づくりを進
めて参りますので、各位には格別なご理
解とご協力を引き続き賜りますよう、宜
しくお願いを申し上げます。

今年は何年になく大雪で、通勤、通学
や農作業など日常生活にご苦労が多いと
思いますが、お元気で活躍なさること
を祈りながら、年頭のご挨拶といたしま
す。

平成18年1月

南部町長 坂本昭文



板祐生コレクションより